政 策 3

~男女共同参画の地域社会をつくります~

後期基本計画における「めざそう値」等一覧

【めざしたい将来像】

男女がお互いに相手の人権を大切に思い、ともに責任を分かち合い、個性や能力をフルに発揮できるまちをめざします。それは、男女が対等なパートナーとして、いろいろな分野に参画できるまちです。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

		前期基本計画		現状値	後期基本計画	
	13年度	19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
固定的性別役割分担を支持しな い人の割合		45.0%	45.0%		45%	50%
	43.4%	43.8%	47.2%	45.6%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

さらに伸びることを期待し、市民の半数(50%)に達することをめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

		前期基本計画		現状値	後期基本計画	
	13年度	19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
女性の就業割合	_	_			55%	60.%
	54.7%	53.5%	50.3%	46.3%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

就労を希望する女性が約8割(79.2%※)であることから、現状から毎年1%上昇することをめざす(女性センター「男女共同参画社会に関する市民意識調査」(平成18年度))。

政策3

男女共同参画の地域社会をつくります

1. 現況と課題

男女平等の実現に向けて様々な取り組みが進められ、法律・制度上においては男女平等がほぼ達成されつつあるものの、家庭生活や就労環境はいまだに男性が優遇されていると感じている人が多い現状にあります。

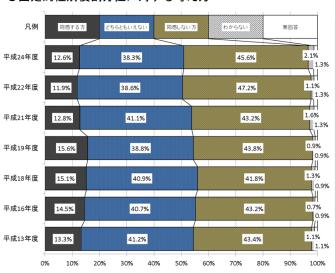
市民意識調査によれば、「固定的性別役割分担を支持しない人の割合」は、平成13年度43.4%であったものが、24年度も45.6%とほとんど変化していません。

男女が地域、職場、家庭で共に参画し、いきいきと充実した人生を送れる社会となるよう、固定的な男女の役割分担にとらわれずに、家庭生活と就労の両立を、個々人が望むバランスで実現できるようにしていく必要があります。

【特筆すべきニーズの変化】

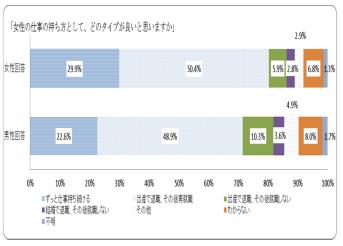
・女性が出産、育児後に再就職したり、ボランティア活動などに参加しやすくなることが求められています (ニーズの増)

●固定的性別役割分担に対する考え方



出典 市民意識調査(平成24年度)

●女性の理想と考える就労パターン



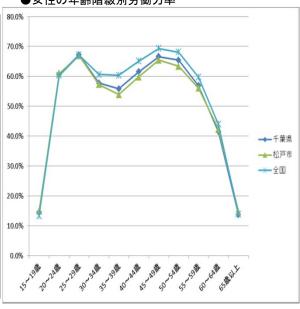
出典 『平成23年度男女共同参画社会に関する市民意識調査』

●男女平等感

【評価データ】男女平等感「次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか」 7.1% 8.0% 女性回答 /// 56.1% /// 1.6% 11.8% 12.0% 男性回答 41.3% 33.8% 職場で 5.9% 女性回答 53.3% 23.0% 10.8% 10.5% 男性回答 51.9% 25.7% 学校教育で 3.5% **/// 14.2% ///** 女性回答 43.4% 34.3% 4.6% 男性回答 10.8% 49.1% 31.4% 1.5% 11.8% 2.9% 11.2% 社会全体で 女性回答 72.4% 10.8% 男性回答 **0**.4% **%** 59.5% 19.0% 0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0% ✓男性優遇 男女平等 ■女性優遇 わからない ■不明

出典 『平成23年度男女共同参画社会に関する市民意識調査』

●女性の年齢階級別労働力率



出典 「平成22年度国勢調査」をもとに作成

2. 施策の展開方向

平成10年度にスタートした「松戸市男女共同参画プラン」に基づき、市民と行政とが一体となって、 男女共同参画社会の実現に取り組んでいきます。男女が互いの人権を尊重し、一人ひとりが自分らし く生きることを大切にされるまちづくりのため、講座・イベントの実施や情報の提供、個別の相談事 業を行っていきます。

出産・結婚等で離職した女性の再就職を支援する講座や相談などの支援を行います。また、子ども の個性を育む学習支援を行っていきます。男女共同参画を推進するボランティア団体と、市との協働 を進め、イベントの開催などを定期的に実施していきます。

ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を、男女共同参画の視点からも推進し、個々人が 自らの望むバランスで仕事と生活をしていけるような社会に向けて、市民に働きかけていきます。

なお、行政の施策を総合的に展開するため、庁内の関連部署における施策の進行状況を定期的に把 握していきます。

3. 施策を推進していく上での課題

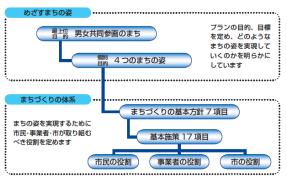
高齢化などの理由から、男女共同参画を推進するグループの活動基盤が弱くなっています。また、 出産・結婚等で離職した女性の再就職を支援する施策を研究していく必要があります。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

女性センターは男女共同参画の推進拠点として、就労支援等の各種情報の提供や、相談窓口等が 充実しています (強み)

●松戸市男女共同参画プラン





出典 女性センター資料

●松戸市女性センター ゆうまつど



出典 女性センター資料

●女性センター「個育てサロン」利用状況



●松戸市職員の係長相当職以上の女性の割合



出典 人事課資料を基に作成

●男女共同参画啓発事業 (H23年度実績)

事業名(講座タイトル)	件数及び参加者数等	対象者(女・男の別)
男女共同参画週間記念講演会	157名	女性·男性
エンパワーメントセミナー 働きたい女性の講座 全10回	18名(延べ109名)	女性
エンパワーメントセミナー パートタイム労働ガイダンス	24名	女性
エンパワーメントセミナー イクメン講座 全5回	36組(延べ96名)	男性
エンパワーメントセミナー しごとサポートフォローアップ研修	17名	女性
エンパワーメントセミナー 情報紙講座 全8回	19名(延べ95名)	女性·男性
ゆうまつどフェスタ	1527名	女性・男性
女性のための護身術講座	20名	女性
人権啓発受託事業	159名	女性·男性

出典 女性センター資料